

笑顔あふれる学校・思いやりあふれる学校・チャレンジあふれる学校

令和2年度 飯野中学校 学校だより 第75号

自律
挑戦

志保井が丘

協働
創造

2021.1.12 発行 文責 校長 目黒 満

教師・保護者・地域がみんなで見守り、みんなで育む学校

2021年もよろしくお祈いします

福島市新型コロナ緊急警報の中ではありませんでしたが、新しい年を迎えることができました。

本年もよろしくお祈いいたします。

昨年末、福島市でも感染者数が増加し緊急警報が出されました。市内でも全校単位や学年・学級単位での臨時休業措置が取られた小・中学校も見られ、感染拡大を防止のため第2学期終業式が前倒しとなりました。

年末年始も首都圏では感染者数の増加が止まらず、緊急事態宣言が出され全国での1日の新規感染者数が、一時は7千人を超えました。福島市でも一進一退の状況が続き、緊急警報が11日まで延長されました。

本校関係者には、今のところ感染や陽性の情報はありませんが、保護者の方々の職場では陽性者が出ているところも徐々に出てきていることから、市内も「緊急事態」であることは認めざるを得ないと考えます。

そうした状況を踏まえ、3学期のスタートにあたり、日本医師会の中川会長さんが記者会見でお話ししていた「**コロナに慣れないでほしい、コロナを甘く見ないでほしい。**」の言葉を改めて肝に銘じ、一人一人が自覚を高めた行動を取っていききたいと思えます。

- **健康観察・検温の徹底**・・・毎日の検温・健康観察の徹底・継続を
※ 家族全員で取り組むことで感染の予見・予防になります
- **換気の徹底**・・・常時、対角開放または30分に1回程度の換気
- **こまめな手洗い・消毒の徹底**
- **登下校時、授業の前後、活動の前後、トイレの前後・給食の前後等**
- **ソーシャル・ディスタンスの確保**・・・教室の広さは限られて
いますのでできるだけ距離を取る、接触を避ける意識を持って
- **マスク着用による飛沫防止、給食時等の飛沫防止**
・・・マスクの飛沫防止効果はかなり有効です 常時着用の徹底を

- ・・・給食時、マスクを外した時にはしゃべらない・対面しない
- ・・・歯磨きの際のおしゃべり・うがいの飛沫感染リスクが高まります
歯磨き中はしゃべらない、うがいの水をはじかないように
こうした行動を徹底することで、万が一、感染してしまった人が校内にいたとしても感染を広げない環境をつくり、3学期を充実させていきましょう。

水道の蛇口をレバー式に交換しました



市と国からの感染拡大防止のための特別予算を使って、本校手洗い場とトイレの水道の蛇口を回転式からレバー式に交換しました。手のひらで握らなくても手の甲や肘で水道の開け閉めができます。



センサー式も検討したのですが、学校の蛇口は数が多く、また電気式のため工事費等の関係もあり、こうした形となりました。冬休み中に、本校の赤木技能主事が取替え作業を行いました。

昭和56年の校舍建設から41年、蛇口のネジを緩めても取っ手が外れにくい箇所が多く、作業は大変でしたが、なんとか交換作業が完了しました。

密を避けるため、各階手洗い場の蛇口は一つおきにレバー式に取り替えました。手洗いの際にはレバー式の蛇口を使うことで、ソーシャル・ディスタンスが確保できるよう設置しました。

放送による始業式

二学期終業式同様、三学期始業式も放送で実施しました。今日は、3年生の多くが私立高校の受験のため試験会場で第三学期



の開始を迎えるかたちとなりましたが、みんな真剣な表情で式に臨んでいました。写真は各学年代表の発表者の発表の様子と、私立受験のため空席が目立つ三年教室の様子です。

